第16回定例会アンケート集計結果「非常時のトイレの備え方」～わが家・勤務先から避難所まで～

2016年10月26日　＠人と防災未来センター　定例会参加者48名中25枚回収

**１．参加回数と情報ツール**

１回：１８

２回：

３回：２

４回：１

５回以上：４

メール：10

フェイスブック：1

知人：6

その他：ひとぼうＨＰ(1)、インターネット(2)、友の会案内(1)、ひとぼう案内(2)、他2

**２．参加のきっかけ（これまでの防災への取り組みなど）**

・阪神の震災当時に長田区役所でのし尿処理ができていないのを目の当たりにしたため

・災害時トイレの重要性は痛感しているので参加（４）

・新しい知識（防災）を身につけたいから（２）

・東日本大震災ボランティアをきっかけに防災を学んでいる

・日本の防災技術や知識、防災用品を韓国向けで紹介したい

・仕事で災害時のトイレ環境について携わる機会がありましたので、ぜひ参考にお話を伺いたい

・環境衛生分野でトイレをどう考えるのか、今後のため

・「非常時のトイレの備え方」について知りたかった。熊本地震でもトイレ問題が取り上げあれ備える重要性は分かるが、備え方（何を、いくつ、どのように）を詳しく知りたかった

・自主防災組織を立ち上げて今までは心肺蘇生訓練のみ、広く防災関連の知識を広げるため

・会社で防災品の販売をしており、昨年防災士の資格を取得、活用しきれず自己啓発と知識習得のため

・防災のラジオ番組を担当し各地を取材、災害に関することを少しでも深めたい

・「出すこと」も大切なのに（ゴミも）今まで無視に近い扱いをされてきたから、**分からないのは携帯トイレが具体的にどう継続して使われるのか**

・テーマに興味があった

・広範囲な知識を得たかった、いろいろな方のお話も聴きたかった

・湯井の紹介

・行政として災害時のトイレ環境の向上に取り組みたいと考えて勉強に来た

・段ボール防災用品を扱っているから

・語り部として講和の参考になることがあると期待して参加

**３．プログラムについての満足度**

**講演①（高田氏）：５（１２）・４（９）・３（４）・２（０）・１（０）**

・学術的な意見として参考になった

・「被災者の権利」という事が印象的だった

・知らないことをいろいろ教えてもらった

・とても分かりやすかった

・実際の避難所の状況の写真もあり説得力のある内容で勉強になった（２）

・トイレのガイドラインができている事、色々と知ることができ良かった

・スフィアプロジェクトや配慮すべき事柄がよく分かった

・トイレの使い勝手や女性、障がい者への配慮の重要性

・仮設トイレの設置の際の注意点がよく理解できた

・目指す方向性がイメージできた

・もっと深いところの話が聞きたかった

・もう少し熊本の状況を聞きたかった

・発災直後～1週間の対応工夫の考察が不足している

**講演②（長谷川氏）：５（１２）・４（１０）・３（２）・２（１）・１（０）**

・生きた情報を伺えて良かった

・災害時水をためておくことしか知らなくて勉強になった

・実際に役立ちそう

・上下水道の注意点がよく分かった（３）

・下水が使えるかどうか、災害時どのように確認すればよいのかも合わせて教えてほしかった

・下水管まで気がまわっていなかったので災害時の水の使用にはくれぐれも気を付けたい（２）

・レジメがほしかった（２）

・防災トイレの重要性、避難所での震災関連死を出さない

・わかりやすい話、ぜひ広めていきたい話だと思った

・「上水＝使う水」「下水＝使われた水」という言葉がとても分かりやすかった、それを踏まえると災害時に何をすべきでなぜ携帯トイレが必要なのか防災意識のまだ薄い方に説明しやすく感じた

**ワークショップ（森口氏）：５（１０）・４（６）・３（４）・２（２）・１（０）・無回答（３）**

・考えることで対応が分かると思った

・すごく頭を使った、他の人の意見が聞けて良かった（２）

・時間がないのであれば無理にする必要なないと思う、レクチャーでもいいのでは

・良い内容で、ワークショップで活用できそう

・中途半端、もう少し時間があれば良かった（３）

・自分のことのように考えられてよかった

・考える時間が思う以上に大切だと思った

・もっと時間を使ってグループ別にワークショップをすれば面白かった

・トイレの使用可否の判断が参考になった

・**答えと説明文が後でダウンロードできたら助かる、資料がほしい（２）**

・変化対応力が問われている

**４．「非常時のトイレ」についての理解は深まりましたか？**

５（１３）・４（８）・３（１）・２（１）・１（０）・無回答（２）

・頭のトレーニングに役立った

・少量の備蓄では全然足りないことが分かった

・資料がないプログラムがあったため不満

・これまで知っているつもりで間違った理解をしていたこともあった

・食の確保ができた後は必然性のある「トイレ」の問題は重要な課題と痛感した

・発災後にまずやること、対応手順

・いろいろな視点が必要なことが分かった、三重から参加してよかった

・深まった

・災害時のトイレは必ず困るものだと思うので考えるきっかけになった

**５．次回のそなえ隊の定例会に参加する／テーマ**

参加（７）・わからない（１６）・参加しない（１）・無回答（３）

・なんでもＯＫ

・防災訓練のようなワークがあっても流れの訓練ができて良いかと思った、それにより必要なテーマも出てくるのではと思う

・ゴミ（個人レベルの震災ゴミの処理について）

・引き続きトイレの問題を

・備蓄、非常時の食料

・仕事に関係する内容であれば勉強のために参加したい

・男女共同参画、要支援者対策

・避難訓練マニュアル、隠れ断層

**６．プレゼンテーション希望、その他質問など**

・私は耳が聞こえないので、可能であれば本日みたいな**要約か手話通訳手配**ありがたい（中江文隆氏）

・語り部の実際の経験談は良かった（無記名・段ボールメーカー）

**７・メーリングリストによる案内希望**

希望する（１３）・希望しない（６）・無回答（６）

東海地域防災の会　松尾昇会長さまよりＦＡＸ079－435-0763への配信希望あり

【事務局メモ】

・「携帯トイレがどのように継続して使われるか」、即ち、在宅避難時のトイレ問題では？マンションで配管の無事がどのタイミングで分かって排水できるのか、或いは仮設トイレの導入のタイミングはどのように図るのか、といった問題について高田先生のご見解を伺い、ＦＢなどで公開してはどうか。

・森口氏のワークショップの記事をＦＢなどで公開してはどうか「森口先生の1コマワークショップ」など

・初回参加の㈱和信金属の朴Parkさまより「日本の防災技術や知識、防災用品を韓国向けで紹介したい」という参加のきっかけを隊員で共有し、海外展開への道をつけられないか→営業Ｇ